

仏教保育基盤に運営

記念式典 園児ら音楽法要

蓮美幼児学園創立25周年



秋田学園長と共に音楽法要を営む園児ら

浄土宗光聖寺（大阪市天王寺区）と社会福祉法人光聖会が運営する蓮美幼児学園は18日、創立25

周年を祝う記念式典を市内のホテルで開いた。

蓮美幼児学園は現在、東京と関西で37の認定子ども園や認可保育園などを運営しており、総園児数は2千人に上る。

式典では、うえしおキンダースクール（同区）、たにまちナーサリー（同区）、もりのみやナーサリー（同市中央区）の有志園児ら35人が合唱を披露。本園アート教室の園児らが作った法然上人の貼り絵の前で、元気いっぱいに歌い上げた。

合唱の後、秋田光哉学園長（58）と共に宗歌の

「月かげ」や「ほとけさまのおしえ」、十念を唱えて音楽法要を営んだ。

秋田学園長は挨拶で関係者らへの謝辞を述べ、「子どもを持つ世帯が将来に夢を持てるようになり、子どもを育てる喜びを得られる環境を整えてこそ少子化の解消になるのでは」と話した。

園の教育環境については「全ての園で共通しているのは、釈尊が室内にかけられており、毎日朝の礼拝などで手を合わせていること。仏教教育保育を基盤に『明るく、正しく、仲良く』が身に付き、思いやりや人の心の痛みが分かる子に成長してくれている」と語っ

た。

式典後には祝賀会が開かれた。宗内外から400人以上が出席し、豊岡

・鐘尔宗務総長や井桁雄弘・総本山知恩院執事長、

高口恭行・一し寺長老、左藤章・衆議院議員らか

ら祝辞が寄せられた。

（奥岡沙英子）